

第3回 新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会 会議録

- 1 日時 令和4年12月23日（金） 14時00分～16時00分
- 2 場所 新居浜市市民文化センター 視聴覚室
- 3 出席者 委員 井田委員長、篠原副委員長、合田(定)委員、妻鳥委員、戸田委員、高橋委員、塩田委員、尾崎委員、原(孝)委員、久保委員、合田(史)委員、中野委員、篠原(和)委員、後藤委員、黒下委員、伊藤委員、近藤委員、梶本委員、原(恭)委員（19名）
アドバイザー 木村 勢津（愛媛大学名誉教授）
宮崎 節二（(公社)瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事・音楽家）
- 事務局 新居浜市文化スポーツ局長 佐藤、文化振興課長 中沢、同課係長 高橋、同課専門員 桑原
- 支援事業者 (株)いよぎん地域経済研究センター 山之内
(株)矢野青山建築設計事務所 矢野、藤原
- 欠席者 北岡委員、大西委員、小野委員、田坂委員、鈴木委員、奥本委員、好井委員、佐藤委員、濱田委員、福本委員、加藤委員(11名)
- 4 議 事 (1) 報告事項
- ①文化センターの収支状況
 - ②周辺施設との利用料金等の比較
- (2) 基本構想(案)について
- (3) その他

事務局	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただいまから、第3回新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会を開催します。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>まず、本日の出欠状況について報告します。遅れてご出席いただける方もいらっしゃると思いますが、委員総数30名の内、現在、出席者は18名いらっしゃいますので、本日の会議の成立要件を満たしています。</p> <p>また、本日は、愛媛大学名誉教授の木村勢津先生と、瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事の宮崎節二先生のお二人に、アドバイザーとしてご出席いただいています。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>なお、アドバイザーの花音舞さんにつきましては、現在、日本とセルビア共和国との友好140周年を記念した、セルビア国立歌劇場でのコンサートご出演のため、本日はご欠席です。</p> <p>次に、本日の協議内容について、説明します。本日配布している検討委員会次第をご覧ください。</p> <p>(1)の報告事項については、第2回会議でご質問、ご要望のあった件について資料を作成しましたので、報告いたします。</p> <p>次の(2)基本構想(案)についてですが、本日と次回の第4回会議の2回で取りまとめる予定です。第4章の「施設整備の基本的な考え方」、第5章の「管理運営の基本的な考え方」を中心に、ご協議をお願いできたらと考えています。</p>
-----	--

	<p>それでは、これより、井田委員長に、議事進行をお任せします。よろしくお願いいたします。</p> <p>(1) 報告事項 ①文化センターの収支状況</p>
井田委員長	<p>では、次第に従い、議題(1)報告事項から進行します。まず、前回、梶本委員からご質問のあった「文化センターの収支状況」について、事務局から報告をお願いします。</p>
支援事業者	<p>(資料1に基づいて、文化センターの収支状況について説明)</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。何か質問はありますか。 なお、会議録作成のため、お名前を言っていただいてからご発言をお願いします。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
井田委員長	<p>ご欠席の方から事前にご意見はございましたか。</p>
事務局	<p>好井委員からご意見をいただいているので紹介します。 「文化系の公共施設の収支を黒字化するのは根本的に無理だと思います。施設の赤字が市民に過度の負担になるのは問題ですが一定の範囲内での赤字は仕方ないと思います。」とのことです。</p>
	<p>(1) 報告事項 ②周辺施設との利用料金等の比較</p>
井田委員長	<p>続きまして、好井委員からご要望のあった「周辺施設との利用料金等の比較」について、事務局から報告をお願いします。</p>
支援事業者	<p>(資料2に基づいて、周辺施設との利用料金等の比較について説明)</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。利用料金や減免制度等は、今回の基本構想の検討内容ではありませんが、皆さん、大変関心のあることと思います。将来検討していただく際の参考となりますので、ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
井田委員長	<p>市民文化センターの利用料金は、他市と比べてもかなり安いということがわかると思います。新しいホールになると料金が高くなっているようです。 特に意見がないようでしたら、本日ご欠席の方から何か意見はありましたか。</p>
事務局	<p>報告します。2人の委員から意見をいただきました。 まず、舞台演出の好井委員からです。「最近、完成した“しこちゅうホール”“ハイスタッフホール”が新市民文化センターの料金体系にも反映されると思います。また、現在建設</p>

	<p>中の丸亀の新ホールがどの程度の料金体系になるのかも、参考になると思います。どちらにしても、今までとは違った料金体系になるのは当然で、利用者側にも理解して欲しいと思っています。」</p> <p>次に新居浜高専の奥本委員からいただいた意見です。「発表会の場としては従来から文化センターやあかがねミュージアムのホールを使わせていただいております。新しい文化センターはきっと利用料の値上がりがあるだろうとおりますが、学生にとっては非常に高いハードルになると思われますので、難しいところとは存じますが是非減免措置について十分ご配慮いただけますと幸いです。」</p> <p>以上、お二人からでした。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。現時点で、事務局から答えられることはありますか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。委員長も言われたように、今回の基本構想の中ではなく、来年度以降の検討の中で具体化を図ることになります。本日のご意見は参考とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<p>(2) 基本構想(案)について</p>
井田委員長	<p>それでは、基本構想(案)の協議に入りたいと思います。約50ページありますので、三つに分けて説明をしていただき、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>まずは37ページ、第3章までを、事務局から説明をお願いします。</p>
支援事業者	<p>(資料3に基づいて、基本構想(案)の第3章まで説明)</p>
井田委員長	<p>ありがとうございました。何か質問・意見はありますか。</p>
原(恭)委員	<p>8ページ、そもそも論で恐縮だが、この施設の建設にあたり検討が行われてこなかったことが一つあるのではないか。上位計画との比較で、まちのにぎわいをつくりましょう、中心部のいい環境ということ謳っているが、この場所に大ホールを作るのに、ホールの上に住居や店舗などを設けることは全く検討していないのか。あるいは、検討しているがフィージブルでないということで除外したのか。</p> <p>今回視察した瀬戸内エリアの四国側にはそういった施設はないが、広島や岡山、たとえば、岡山のシンフォニーホールでは、ホールの上にマンションや店舗が整備されている。そのようなことで全体の事業性を上げることも、場合によっては可能ではないか。新居浜市の場合、直感的には、需要やコストを考えるとなかなか難しい気はするが、すでに検討しているのであれば、考えを聞かせてほしい。検討していないのであれば、検討した方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>ホールの上層部に店舗や住宅をという点については、今後、基本計画を策定した後に、市場調査として、民間がどのような形で参入できるのかを検討していく。この委員会の場合、ホールそのものをどういうものにしていけばよいかを基本構想・基本計画として考</p>

	えていただくこととしているため、ホール機能とは別の住居や店舗については、民間が参入できるのかどうか、市場調査を通して判断できると考えている。
原(恭)委員	ありがとうございました。
井田委員長	せっかくの機会なので、意見や要望を言ってもらえたらと思います。 (質問・意見なし)
井田委員長	ご欠席の方から事前にご意見はありましたか。
事務局	新居浜高専の奥本委員から「9ページにもメインターゲットとして『若者(中高生含む)』と記載いただいているとおり、学生の利用者を増やしたいという方針だと理解しており、この方針自体には心から賛同します。」との意見をいただきました。
井田委員長	他に意見がないようでしたら、続いて38ページから44ページまで、「第4章 施設整備の基本的な考え方」について、事務局から説明をお願いします。
支援事業者	(資料3に基づいて、基本構想(案)の第4章を説明)
井田委員長	本日のメインテーマになると思いますが、38ページから44ページまで、「第4章 施設整備の基本的な考え方」について、委員の皆さんから、ご質問、ご意見はありますか。
戸田委員	40ページについて、できるだけ駐車場を多く確保してほしい。あかがねミュージアムにはグリーンベルト、植栽をしているところがある。あの部分を削って、5台でも10台でも多く車を止めさせてほしいと思っている。40ページに容積率や建ぺい率のことが書かれている。私は詳しくないのでよくわからないが、市の条例などでグリーンベルトを何%確保しなさいなどのルールがあり、作らざるを得ないのか。少なくとも駐車場にできるのかを知りたい。
支援事業者	グリーンベルトとして、敷地面積の何%を確保しなさいという規定はない。ただ、中央公園として大体5,500㎡ほどのエリアが指定されているが、整備後も同じ面積を中央公園として確保する必要がある。
戸田委員	了解した。1台でも多く駐車場を確保してほしい。
原(孝)委員	現在の駐車場が170台、新しい文化センターでは2倍以上を考えているとのことだが、今の敷地の中では確保できないのではないのか。どのような方法を考えているのか。立体駐車場なのか。
支援事業者	具体的な確保の方法については、基本計画での検討になるが、現時点の検討では、平面

	<p>的に確保する場合は300台程度が上限と想定される。市役所側の図書館棟がなくなること、中ホールをなくしてマルチスペースとして整備することなどにより施設をコンパクトにすれば、そのようなことが可能となる。施設の配置によるが、たとえば、中庭のようなものを設けるとすると、駐車台数は減る。400台以上を確保しようとする、今の見込みでは、立体駐車場などの対応が必要になってくると思われるが、具体的な内容は基本計画の段階で様々なパターンを想定して検討したいと考えている。</p>
原(恭)委員	<p>40ページの図表38の備考欄に、容積率60%、建ぺい率40%以下という記載があるが、設計段階での制約条件になるのか。表中の上の行に容積率400%、建ぺい率80%との記載がある。建ぺい率は半分以下だが、容積率にはかなり余裕がある。制約になるかどうかを聞きたい。</p>
支援事業者	<p>「一団地の官公庁施設」についてだが、愛媛県内で指定されているのは新居浜市だけである。建ぺい率40%以下というのがおそらくネックになる。一方、容積率60%以上、ある程度の床を作りなさいという条件も、計画の内容によってはネックになるかもしれない。どの範囲をベース区域として設定するのか、容積率等の制限を変えられるかどうかは愛媛県との協議となる。現時点で変えられる保証はなく、時間をかけて協議していくことになる。おそらく、40%以下などの数字の部分を変えるのは難しく、ベースとなる範囲をどこに設定するかは協議の余地があると聞いている。これらの数字をにらみながら、今後の検討を進めていかないといけない。容積率400%、建ぺい率80%というのは、一団地の数字に比べると余裕のある数字であるので、一団地の数字の方がネックになる。</p> <p>容積率が何かというと、敷地面積に対してどれぐらいの床を建てられるかをパーセントで表したものである。400%というのは、10,000㎡の敷地があったときに、その4倍の40,000㎡まで床面積をつくることができるというのが容積率の制限。建ぺい率とは、建物を上空から見たときに、フットプリントとも言うが、屋根のある面積が何㎡まで認められるかという制限である。10,000㎡の敷地の場合、建ぺい率40%だと4,000㎡までしか建てられないということになる。この辺りは立体駐車場の可否にも関係してくるため、記載している。</p>
原(恭)委員	<p>一般的に、建築計画を立てる際には容積率が足りないことが多く、特定街区や総合設計で容積の割増をもらうという検討が入るが、今回の場合は逆に容積率を60%以上にしないといけないということなので質問させてもらった。この規制は時代錯誤的な規制に思える。ぜひ頑張って愛媛県と交渉してもらいたい。ぜひ緩和してもらえるように頑張ってほしい。</p>
井田委員長	<p>このエリアにそのような指定がされているとのことだが、市の中心部で公共施設が集積する地域だからということか。</p>
事務局	<p>一団地のエリア指定に関してそこまで詳しくはないのだが、だいぶ前に作られたものである。市役所や公会堂があった時代、国の施設や県の施設などもあったため、このような規制がされたのだと思う。その規制が今も生きており、やや時代錯誤のような気もす</p>

	る。
妻鳥委員	今はどのような施設を建てるかということで構想を考えている。どのように施設を建てるかは次の段階ということ。敷地面積はこれだけしかない、それを有効に使おうと思うと、上に作るか下に作るか。建物もホールだけではない。地下室かできるかどうか、上に伸ばして会議室をたくさん作るのかなど、設計の課題を教えてください。ほとんど決まったような説明で、その説明を聞いて、我々が手を上げたら終わりのような感じだが、皆さんの意見を入れてもらって、どのような方法で、どこに建てて、どこをどうするかという説明はまだない。屋上を緑地帯にするとか、太陽光パネルを設置するとか、そういったことを取り入れるようにしているのか。
事務局	現在、検討しているのは基本構想で、施設の大きな方向性を定めているところである。施設の建設の中でこういった方向で進めればどうかということ、具体的なものを提示しているわけではない。具体的な施設計画の内容は、来年度以降の基本計画等で検討していくことになる。
井田委員長	これで決定というわけではなく、あくまで基本構想(案)ということである。この部分はどうなっているのか、この部分を詳しく説明してほしいなど、疑問に思う部分などがあればぜひこの場でお願したい。
妻鳥委員	我々にとっては、どんなものができるのかが全くわからない。
井田委員長	構想としては、先程説明があったような段階だと思う。大ホールの規模についても、1,200～1,500席で考えているし、駐車場についても300台、できれば400台程度を確保したいという説明もあった。限られた土地の中で、コンパクト化を図るという説明もあった。中ホールをなくし、大ホールで中ホールとしても使えるような機能にする。また、リハーサル室をできるようにするなど、ある程度まとめて敷地を有効に使うという説明もあった。
妻鳥委員	地下にする方法もあるし、地上で2階建てにする方法もある。駐車場は次の段階で検討するということだが、地下となれば先に計画しておかないとできない。
井田委員長	駐車場を地下に設けるか、立体駐車場にするかまでは決まっていない。今後の検討の中でそのような話も出てくるかもしれないが、現段階では決まっていないということで、理解いただきたい。
塩田委員	確認だが、つくるのは大ホールだけ、中ホールは建設しないということだが、その確認である。駐車場がないから中ホールができない。1,200～1,500席の大ホール。中ホールとしても使える形で大ホールを建設するという。素人なのでわからないが、大ホールを作っておいて、その中で300席～500席の観客で演奏するという点について、その点に問題はないのか。

	<p>今は大ホールと中ホールの両方があり、行事がある時はどちらも使用できるが、大ホールしかなければ、中ホールを使う行事があっても、大ホールが使用されているときは、あかがねミュージアムに行きなさいという考え方である。本当に大ホールだけで運営できるのか。</p> <p>蒸し返すようで申し訳ないが、1,200席～1,500席の大ホールが本当に必要なのか。今後の新居浜市の人口がどうなるか、そういうことも踏まえて我々も意見を述べるわけだが、ちゃんとそういうことを考えて結論を出したのか、大きくて良い設備があるに越したことはないと思うが、実質的な、経済的な運用、人口が減っていったときにやっていけるのかどうか疑問に思うがどうか。</p> <p>現在の大ホール・中ホールの利用方法だが、現在でも両方のホールを使用すると駐車場が足りないため、どちらか一方のみの利用しかできていない。席数数は、41ページに記載しているが、1,200席～1500席の範囲で検討を行うということで、席数も検討する範囲を定めたままで、決まったものではない。</p> <p>また、当初から話をさせてもらっているが、席数にもよるが、施設の役割分担、類似施設も周辺にはあるので、それら施設の利用についても検討することが必要になると考えている。</p> <p>マルチスペースを設ける点に関して、最低舞台と同じ面積の部屋を設けることを考えている。現在はそのような部屋がないが、舞台と同じ条件でリハーサルができる。また、普段使わないときは、平場で作っておけば、会議室等で利用できる、多目的に利用できる施設も検討する。そのような考え方で対応していくことを考えている。</p>
事務局	
井田委員長	<p>大ホールを中ホールとしても使う際は、どのように使うのか。</p>
支援事業者	<p>大ホールの1階部分だけで1,200席～1500席を確保することは難しいため、多層構造、2階席になる可能性が高い。1階席だけ利用した場合、800席程度になる。現在の中ホールの規模に近い。800席ではあるが、最近ではコロナ対策もあり、座席の間隔を空けて座ることに慣れてきている。コロナ前では、そのような利用方法は少し寂しい感じがするという話があり、大きく作る以上、完全に対応することは難しかった。現在は、そういったことにも慣れてきているので、特に問題はないと思われる。小さく使うときに、音響や動線は問題なくできているため、中ホールの代替として、大ホールを少し小さな規模で利用することについて、基本的には問題ない。</p> <p>次のステップ以降の話になるが、利用料金の話になってくる。大ホールの利用料金は、面積が大きくなるため、結構高いのだが、中ホールは少し規模が小さいので、たとえば、1階席しか使用しないのであれば、少し安くする。様々な利用の仕方があると思うので、どう安くしていくか、小規模でどう使いやすくしていくか、工夫していきたい。</p>
原(恭)委員	<p>席数について、800席程度の中規模の施設、しかもグレードの高い施設を目指す方が、将来の新居浜市にはふさわしい。近隣施設との比較においても、数を競うのではなく、内容を競う方がいいと思う。私は行ったことがないが、北海道の旭川市に大雪ホールという700席～800席のホールがあり、非常に評判がいい。札幌には大きなホールがあるが、そ</p>

	<p>れとすみ分けて、海外からの国際会議や、いろいろな演奏家が希望して訪れる施設と聞いている。新居浜市も、1,200席～1,500席を目指すという数ありきではなく中身で、利用者の意見も聞きながら決めた方がいいのではないか。</p>
井田委員長	<p>800席～900席も視野に入れて規模を考えた方がいいのではないかという意見だが、逆に、1,300席以上は欲しいという意見はないか。</p>
久保委員	<p>塩田委員や原(恭)委員が言われたこともよくわかる。ただ、音楽に携わる者としては、一流の大きな舞台を見たいという気持ちが強い。新居浜ではここ数十年経験できず、寂しい思いをしてきた。皆いろいろな所に出かけて、いい音楽をたくさん聞いてきたと思う。私自身もいろいろな所に行っているが、行く先々が羨ましい。こんなに大きなホールで、こんな素敵な音楽を聴けていいな、チケット代は高いのだが、それなりのことはあると思う。800席というのもよくわかるが、中途半端な大きさと中途半端な演奏しか聴けない。一流のいい演奏を聴きたいと思うので、1,200席～1,500席ぐらいの規模は必要だと思う。</p>
妻鳥委員	<p>大きなホールの中で、800席程度の利用もできるということか。</p>
井田委員長	<p>そうである。</p>
妻鳥委員	<p>大ホールと中ホールを整備して同時に使用する場合に、十分な駐車場がないということであれば、その方向も考える余地がある。1500席規模の立派ですばらしい会場を作ってもらい、コンパクト化して2階にも席を作るとするのは、大変いい考えだと思う。</p>
井田委員長	<p>中ホールを残し、そこを使いながら大ホールを建設するというようになってくるが、そうすると、新たに中ホールを建てることはできないし、駐車場として利用するという構想になってくる。これから10年先を見据え、どのようなホールができるのか、皆さん期待を持っていると思うので、希望をどんどん言ってもらえたらと思う。その中で方向性が絞られていく。</p>
近藤委員	<p>席数は多い方がいいと思う。久保委員が言われたように、一流のものを見たいし、体験したい。一流のアーティストや宝塚歌劇団に来てもらう場合は、席数が1,200、1,300か1500という以前に、舞台の大きさがあるかどうかである。宝塚にこだわるわけではないが、宝塚には独自の規定がある。ただ、誘致できれば、集客効果はかなり大きい。私たちは、新居浜で聴けない音楽を松山や高松に聴きに行く、しっかりチケット代を払って、そこにしっかりお金を落としてくる。それを同じように、他県の人が5,000円、10,000円、30,000円のチケット代を払っても惜しくないものが新居浜で開催されれば、いろいろな人が新居浜に集まって来ることになる。これから先、人口がどんどん減っていくので、新居浜市民のためだけのホールというよりも、経済効果も狙って、演奏会を聴きに来るだけでなく、コンビニやホテル、タクシーなど、外から人が来ることによってお金を使ってもらえる。単発かもしれないが。新居浜市内の人も、いつもならお茶をしないけど、皆でお茶を飲んでから、ランチをしてから行くといったような、そういう気分になれるような、</p>

	<p>女性の立場からしても着飾って行けるところや、いつもと違う時間を過ごせるような体験ができる演奏会があればいい。</p> <p>話が逸れてしまって申し訳ないが、敷地の大きさは決まっているので、それに対してどれだけの建物を建てられるか。一流の人たちを呼べるような舞台、舞台の設備、そこにもう一度目を向けてもらって、これだけの舞台を作りましょうというところから逆算していくと、自ずとホールの大きさや席数が出てくるのではないかな。</p>
井田委員長	<p>新居浜市民のためだけでなく、外からも人が集まってくるようなホールを視野に入れることも大切であり、それによって新居浜市の中心部が活性化することも重要であるというご意見のように思う。</p>
梶本委員	<p>41ページの機能のイメージ図を見て思ったが、自転車置き場の記載がない。学生に来てもらおうと思うと、学生は西条でも土居でもどこでも自転車で行くので、自転車置き場がないのは辛いのではないかな。また、あかがねミュージアムの自転車置き場には屋根がなく大変そうなので、新しい文化センターには屋根付き駐輪場をお願いしたい。</p>
井田委員長	<p>貴重な意見だと思うので、事務局で検討をお願いしたい。</p> <p>中央公園について、あれぐらいの大きさを確保したうえでの構想と捉えているが、あの面積と同等の公園は必要か。他市のホールに行くと、あまりそういう場所がなく、無いからあえて新居浜市の中心部にはあるといいなという部分はあるのだが、設置場所が変わる可能性はあるようだが、芝生広場や公園といった、ある程度の面積を確保するという考えなのか。</p>
支援事業者	<p>形状や位置は変更可能だが、同じ面積を確保しなければならないことになっている。現在、中央公園とホールの利用者が連携できているかという点、間に道路が通っており、隣接しているメリットを生かしていない。公園といってもいろんな整備の仕方がある。芝生広場や、舗装されてキッチンカーが来たりイベントができる場所だったりする。公園の作り方によって、市民文化センターの一部として捉えることもできる。</p> <p>公園とホールが隣接している事例は少なく、希少な価値である。ホールが立地している中心市街地で、公園というオープンスペースを確保できている事例は少ないので、新居浜の新ホールの個性・特長になる。また、建築計画だけでなく運営面でも、建物の中だけでなく、公園も一体として活用できるようなイベントを、中高生を巻き込みながら企画・運営できる場所になると、非常に面白くなるのではないかな。</p>
合田(定)委員	<p>メインターゲットの設定で、エリア内で働く人、主に子育て世代、子どもの交流ということを考えると、公園をうまく活用できる。ホールが中心であり、子育て世代や子供たちの交流がどこで生まれるのか、建物内に交流スペースを取っているのが、公園も芝生公園にして、子どもたちに利用してもらえるような広場にできるとよい。</p>
井田委員長	<p>市街地だが、あえて公園という形にして、市民に広く活用してもらおうという意見である。</p>

後藤委員	<p>ホールのことに関しては素人なのでよくわからないが、42ページにある交流連携エリア、建物外のことも含めて、これから全体のデザインが検討されていくと思っており、ワクワクしている。先日、高校生の作品を見るために、南高の生徒たちを引き連れて県立美術館に行った。11月中旬、天気の良い週末で、キッチンカーが出ていたり、小さな音楽イベントが開催されていたりした。皆さんが気持ちよさそうに、軽食を食べたり、音楽を聴いたりしながら過ごしているのをうらやましく思った。ちょっと一休みしたいという気持ちになり、しばらくそこでゆっくりするというような過ごし方がフラットとできる、全体の中に公園機能があるということが新居浜市の強みであるということを知り、建物と過ごし方が一体化されたデザインというものを、すてきなものを期待したいと思いながら、事務局の説明を聞かせてもらった。</p>
井田委員長	<p>本日出席いただいている、アドバイザーのお二人から、全体を通してご助言をいただければと思います。</p> <p>まず、木村先生からお願いします。</p>
木村アドバイザー	<p>ものを作り上げていくということはスクラップ&ビルド、このときに何をぐめんないして、何を残していくのか。新居浜市民の姿勢、生き方を決めていく、市民が何に価値観を見出しているのかが見えることになる。公園の話があり、子育てを重視していきたいということを感じていらっしゃることを外部の人間が感じられるということは、これが未来に繋がっていくことだと思うので、大切にしてもらいたい。</p> <p>公園については、全国規模の大道芸の大会を誘致し、公園の中で開催することによって、子どもたちも参加できるし、今までとは違うイベントの方向性、大ホールと公園の両方をうまく使い、屋外と屋内で交差していく、新しい企画を考えることができる。構想や計画を策定した市民が参加し、新しい文化、新しいものを作り上げていくというところに関与していくのではないかと思います、夢が膨らむような考え方をし、前を向いて歩いて行ってはどうかと思った。</p> <p>大事にしてほしいことは、ライフサイクルコストを重要視すること。これから少子化が進んでいくと、すばらしい建物を作ったとしても、どのように維持・運営していくか。大きくなるのしかかってくるので、そこを考えながら何を我慢すべきか。スクラップの部分はこの視点で考えることが重要だと思った。</p> <p>最後に、ホールの設計は日々進んでいる。5～6年前にできなかった音響効果やいろいろな照明設備も、日々進歩している。最新の方法で、ライフサイクルコストをいかに下げていくか、建設に携わる方がよく考えてくれると思うので、市民が何を望むのかを明確にしていく必要がある。</p>
宮崎アドバイザー	<p>今日は初めて公園の話題が出てきた。新居浜市民文化センターの大ホールは、大ホールではない。なぜかその横に中ホールがある。建て替え中にも中ホールを使える形でいけば、とても有意義に使える。1,300席ぐらいないと大ホールとは言いにくく、1,300席～1500席規模のものを大ホールと呼んでいる。新居浜には、呼び屋さんがあまりいないので、そういう業者がいると2,000席という話が出てくるが、我々演奏家とすると1,300席く</p>

らいあればいいかなと思う。ホールが2つあることは非常にメリットなので、500席ぐらいの小ホールと大ホール、他の施設で使ってみた感じでは理想的な組合せではないか。

公園については、極端に言えば地下駐車場を作る。高松では、地下が駐車場になっており、そのような方法もある。皆さんにお叱りを受けるかもしれないが、有料駐車場にしてもいいかもしれない。先に場所を取った方が勝ちになっているが、有料にして駐車場代を取る。新居浜の場合は無料のため、車で来る癖がついてしまっている。逆に、高松のサンポートホールの駐車場代は高い。香川県も高松市も同じ料金設定にしており、結構高い。その分、来場者は工夫をして、隣近所で一緒に来たりしている。考え方の一つと思われる。

中学生や高校生の音楽系の大会が結構ある。新居浜には何もないから避けようということになりやすいが、新居浜にホールがあれば、あそこでやらせてあげようという話になる。今回のような委員会では、何も我々がきちんとしたものを決める必要はなく、皆さんの意見を聞いて、どういう設計になるかはこれからのことになるので、言えることは言っておいた方がいい。宝塚もやりたいし、世界のオーケストラも呼びたいし、オペラもやりたいのであれば、それを言っておいた方がよい。

音楽分野の総合芸術はオペラである。基本的には、オペラやミュージカルができるホールを考えておいた方がよい。そして、設備は最先端のものを使う。うちのホールには備え付けていないから、他の施設から借りてこないといけないとなると、その機械を借りるだけで50万円～100万円掛かり、会場費よりも高くついてしまうことがある。

新居浜市市民文化センターには譜面台が10程度しかない。コントラバスの椅子もない。建て替えるからまあいいかという話になっているのかもしれないが、基本的なものが足りないことは恥ずかしいことなので、必要最低限は揃える。

中高生を対象とした音楽大会は結構な数がある。今回の建物を大きなビルにして、その中に大ホール、小ホールも全部入れて、なるべく高層化し、空いた部分を駐車場にしていくということも、考え方の一つだと思う。

新居浜市が、愛媛県のどのぐらいの位置になるかわからないが、松山には温泉があるので、3,000席規模の大ホールがある、これはすごいホール。今は3,000席を切ったが、左向いてお辞儀をして、真ん中でお辞儀をして、右を向いてお辞儀をするほど広いホールがある。これほどの規模のホールが必要なのかという声もあるが、温泉に入って、大会を開催する場合には非常に重宝するそうである。それで経済界の人と結びつくという方法もあるが、新居浜市の立ち位置をどの辺りに持っていくかによって変わってくる。委員の皆さんが、言いたいこと、言えることをいっぱい言っておいて、いいホールを作っていただきたいと思う。

(木村アドバイザー 所要のため退席)

井田委員長

ご欠席の委員から意見があったようなので、報告をお願いします。

事務局

3名の委員からご意見をいただいています。

まず好井委員からです。「座席数が1,200～1,500席で検討し、舞台も設備を充実させるとあり、方向性としては大変良いと思います。また、客席はワンスロープ型ではなく、多

	<p>層構造(1～2階または3階席)で、1階席のみの利用の場合での中ホール扱いにするのは利用者側からは便利だと思います。ただし、多層階の客席で馬蹄形の客席のレイアウトは“観客の死角”が非常に多いので、絶対に反対です(例：高知市文化プラザ／カルポート)。</p> <p>次に、幼稚園協会の鈴木委員からです。「園外保育に活用できる施設であってほしい。また、開演前にホールに入るまで並ぶ場所の確保や、駐車場から濡れずに移動できるようにしてもらいたい。」</p> <p>次に、新居浜高専の奥本委員からです。「有料となると学生が日常的に使用するの難しいと思われまますので、無料で使用できるスペースを若者・学生が利用しやすくすることが肝心かと思ひます。」以上です。</p>
井田委員長	<p>続いて、45ページから最後まで、「第5章 管理運営の基本的な考え方」「第6章 事業手法の考え方」について、事務局から説明をお願いします。</p>
支援事業者	<p>(資料3に基づいて、基本構想(案)の第5章・第6章を説明)</p>
井田委員長	<p>ただ今の説明について、何か質問や意見はありますか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
井田委員長	<p>ご欠席の委員から意見がありましたら、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>好井委員から意見をいただいています。「資料4の『管理・運営方針の考え方』の記述に賛成します。」との意見です。</p>
井田委員長	<p>本日は、皆さんから大変活発に意見を出していただきました。「基本構想(案)」については、本日の皆様からのご意見も踏まえ、市の方で修正の検討をお願いします。そして、1月の第4回会議で修正箇所を確認させていただきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>(3) その他</p>
井田委員長	<p>続いて、(3)その他に移ります。事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>本日は長時間ありがとうございました。次回以降の予定をお知らせします。</p> <p>委員長が言われたように、今回は、基本構想(案)の修正箇所の確認等を行っていただきます。すでにお知らせしているとおり、1月24日(火)の午後2時から、場所はこの建物の4階の大会議室で開催します。改めてご案内を差し上げますので、ご出席をお願いします。以上です。</p>
井田委員長	<p>忙しい時期ですが、皆さんの出席をお願いします。</p> <p>(花音 舞アドバイザーのコンサートの案内)</p>

事務局	(示野由佳とディーター・パッシングによるデュオリサイタル、市制施行85周年記念 虚構の劇団解散公演「日本人のへそ」密着番組放送の案内)
井田委員長	本日は長時間となりましたが、非常に有意義な意見をいただきましたと思います。以上で本日の会議を終了します。本日はご協力ありがとうございました。 以上